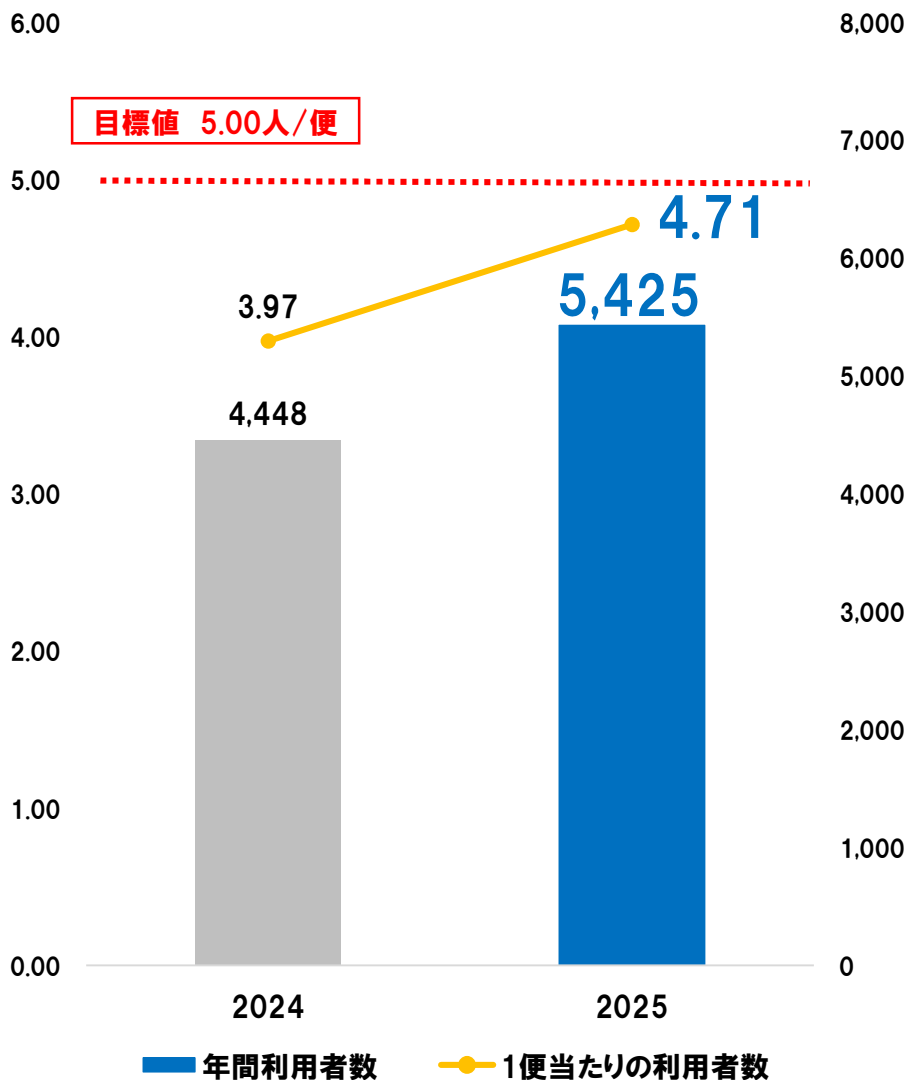


おでかけむーま号(精明・加治) 運行実績について

令和8年3月24日
飯能市地域公共交通対策協議会

年間利用者数(全体)



年間利用者 **+977人**
1便あたり利用者 **+0.74**
⇒ 目標値に対して **△0.29人**

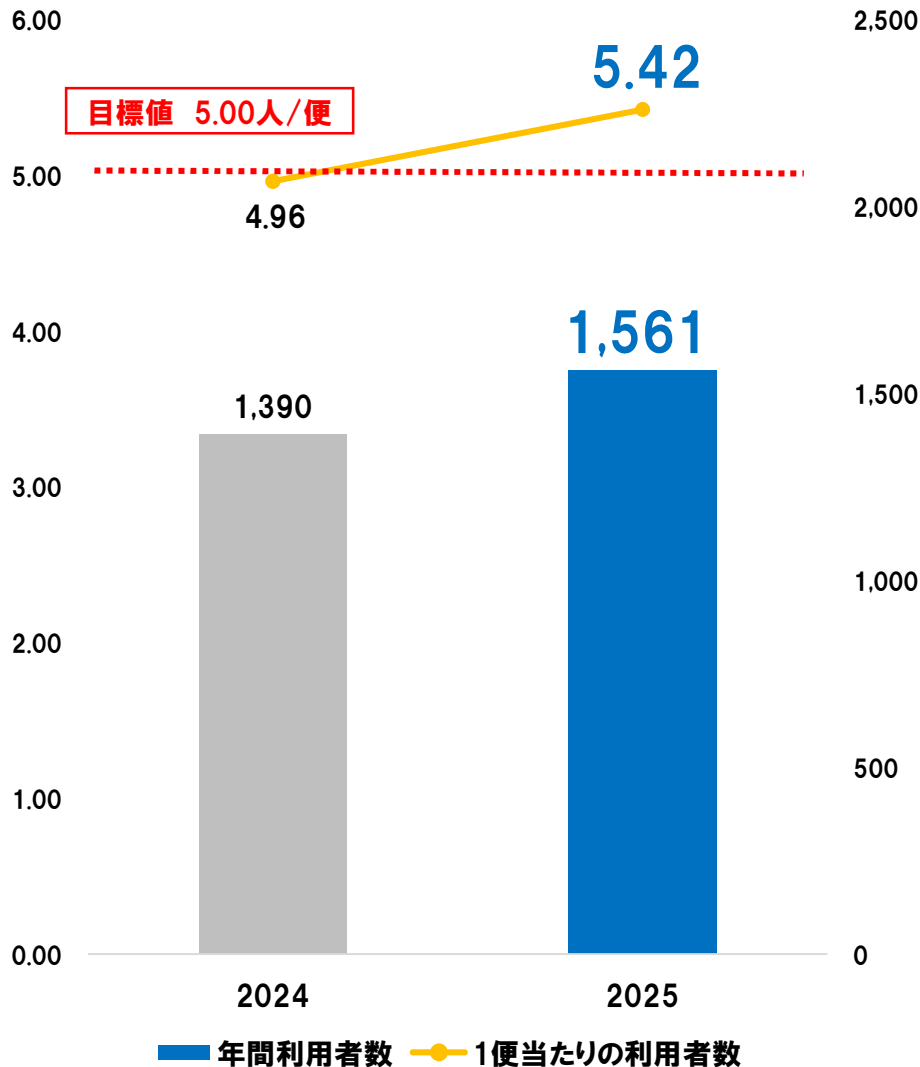
3月～5月、9～10月 増加傾向
⇒行動が活発になる季節

6月、12月 増加傾向
⇒梅雨の移動手段
年末の消費活動



「おでかけの足」として
定着してきている

年間利用者数(精明東)

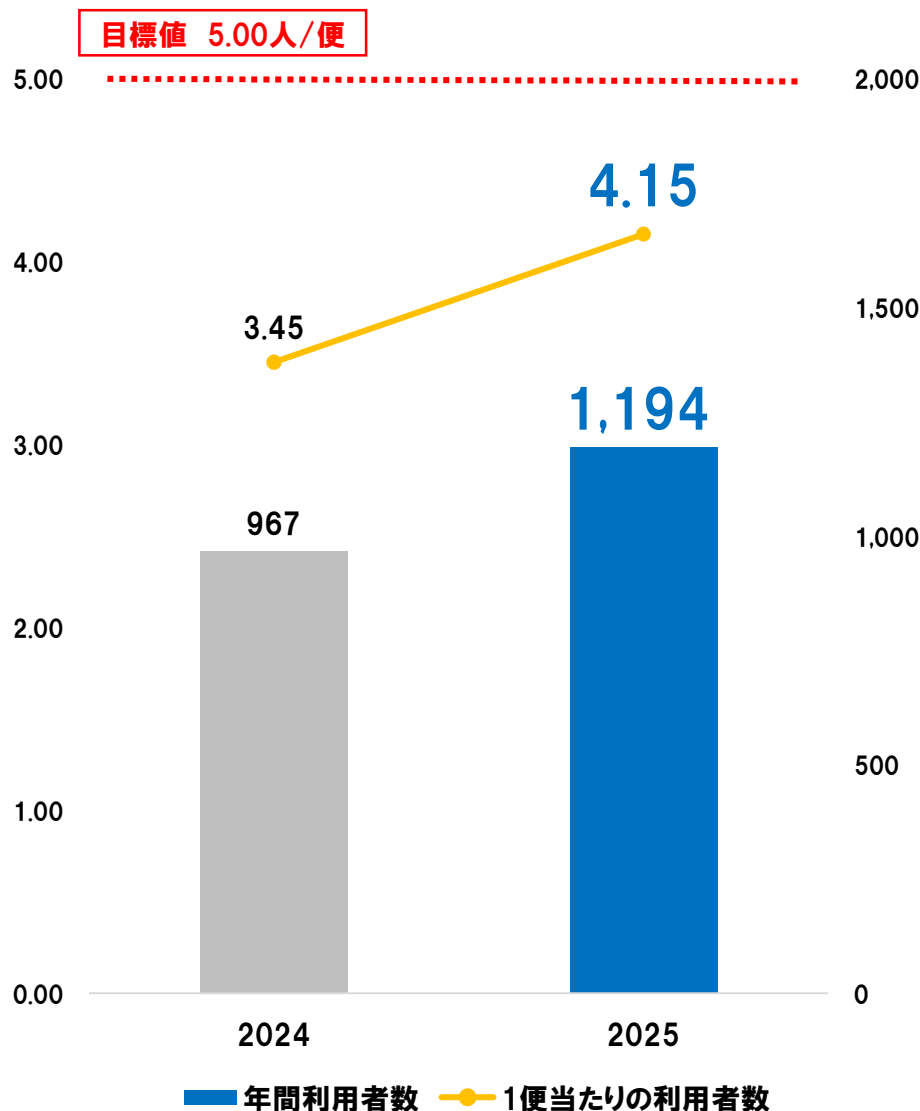


年間利用者 +171人
1便あたり利用者 +0.46人
⇒ 目標値に対して +0.42人

人口減少が続いている地域だが
利用者数は**増加傾向**

月別の利用状況も精明・加治全体
と類似傾向

年間利用者数(精明西)



年間利用者 +227人

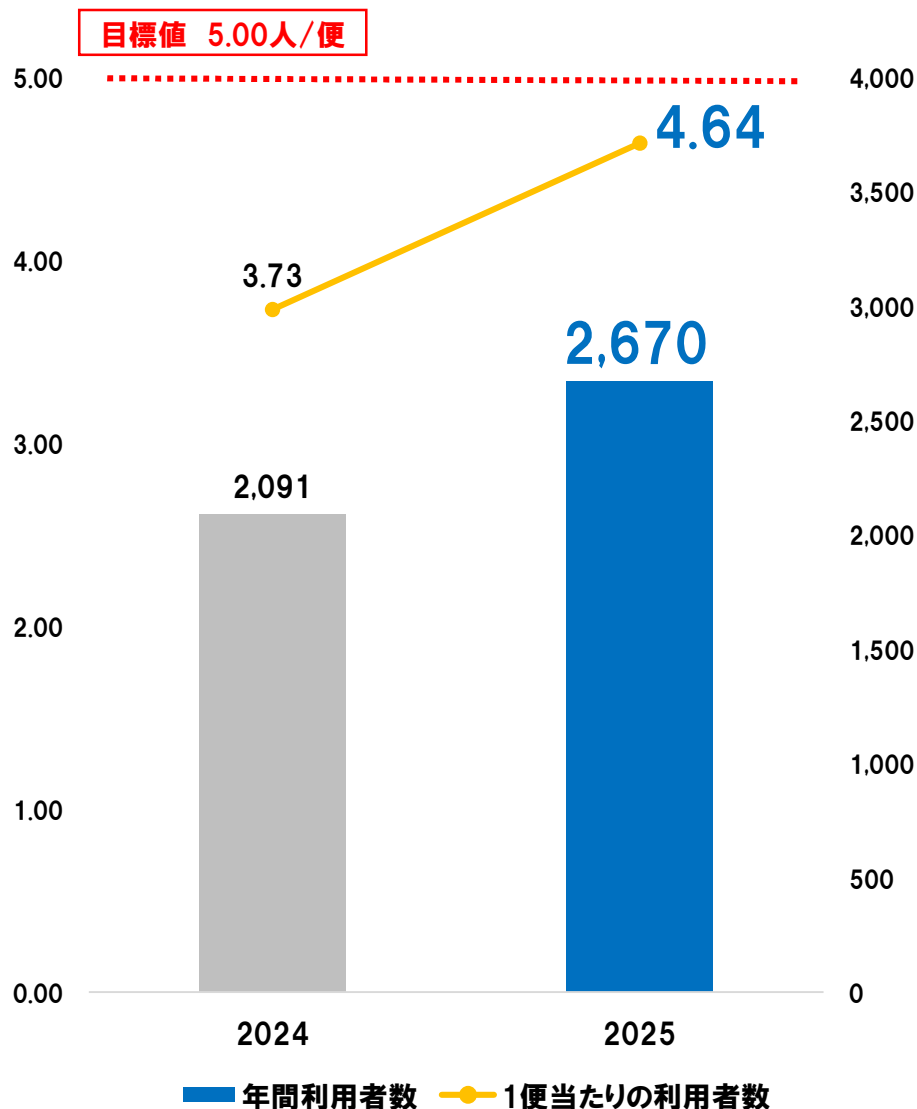
1便あたり利用者 +0.7人

⇒ 目標値に対して △0.85人

人口減少が続いている地域だが
利用者数は**増加傾向**

月別の利用状況も精明・加治全体と
類似傾向

年間利用者数(加治)

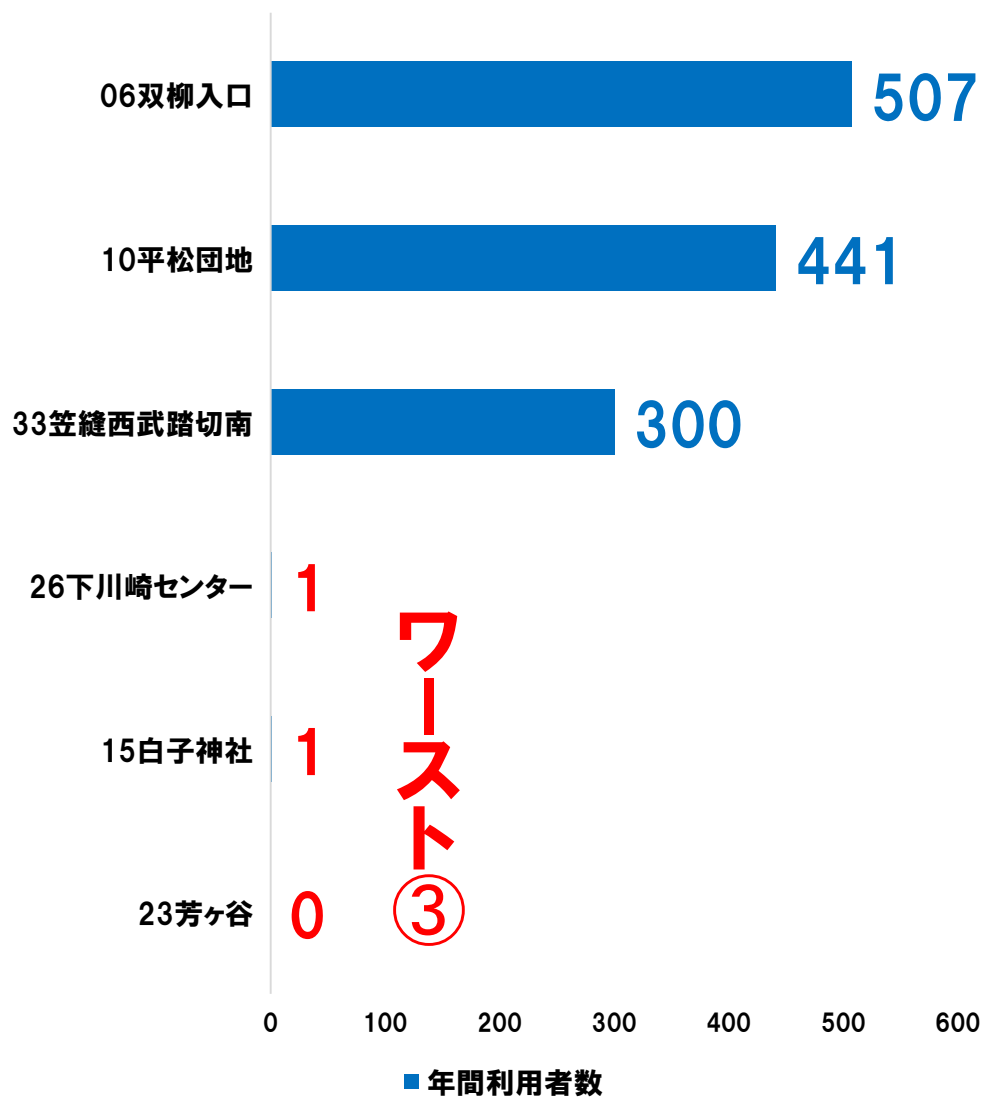


年間利用者 **+579人**
1便あたり利用者 **+0.91人**
⇒ 目標値に対して **△0.36人**

区画整理の影響もあり人口増加地区のため利用者も**増加傾向**

9～10月は特に増加傾向

年間利用者数(停留所別)



利用状況は停留所ごとに大きなバラつきが見られている

299号沿いであり、両コースで利用される**双柳入口**に集中

居住密度の高い**笠縫・岩沢地区**や**市営団地周辺**の利用も多い

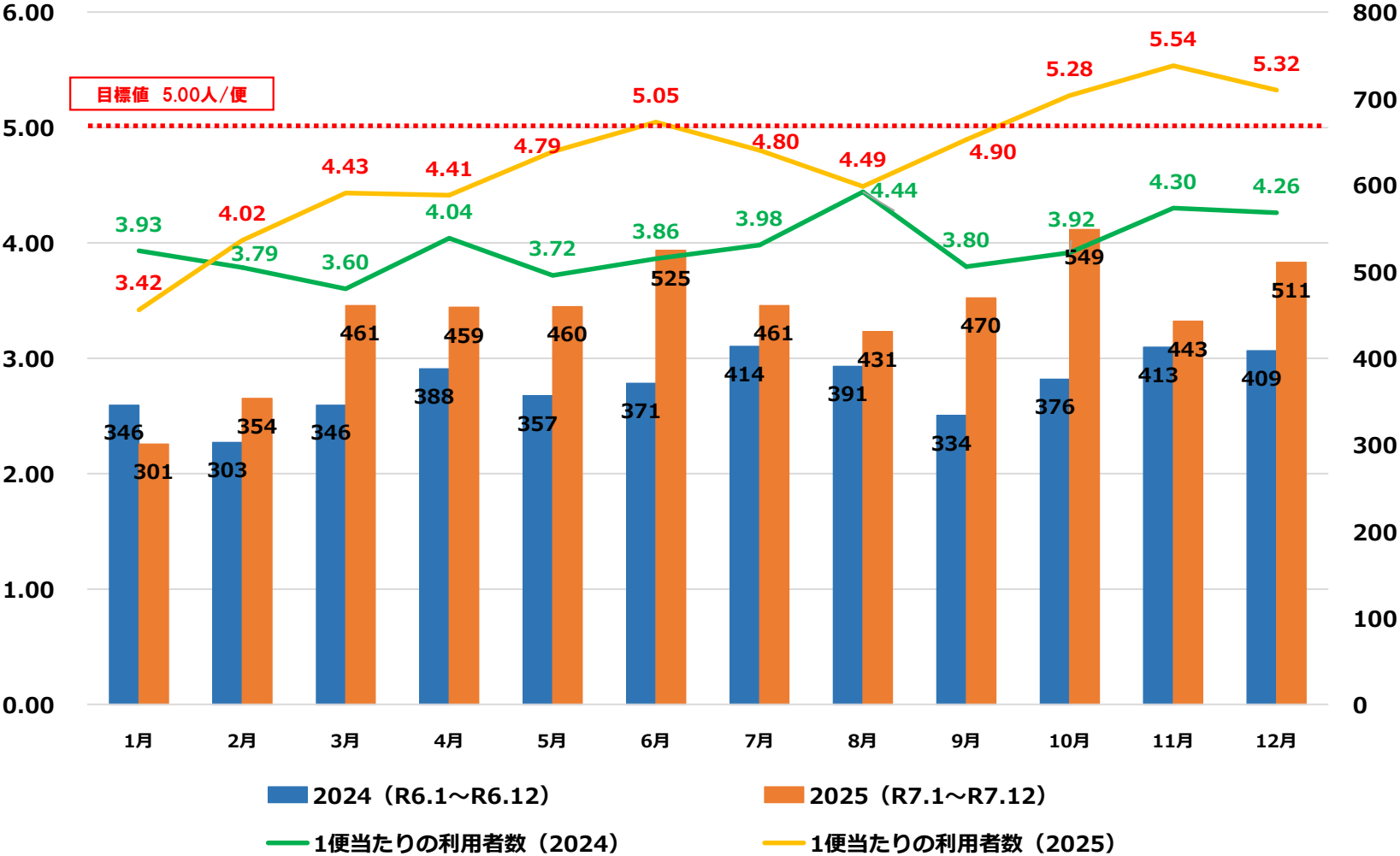
一方で、ワースト③は全て**精明コース**がランクイン

停留所ごとの利用状況から**コース再編、停留所の在り方**について検討が必要となる

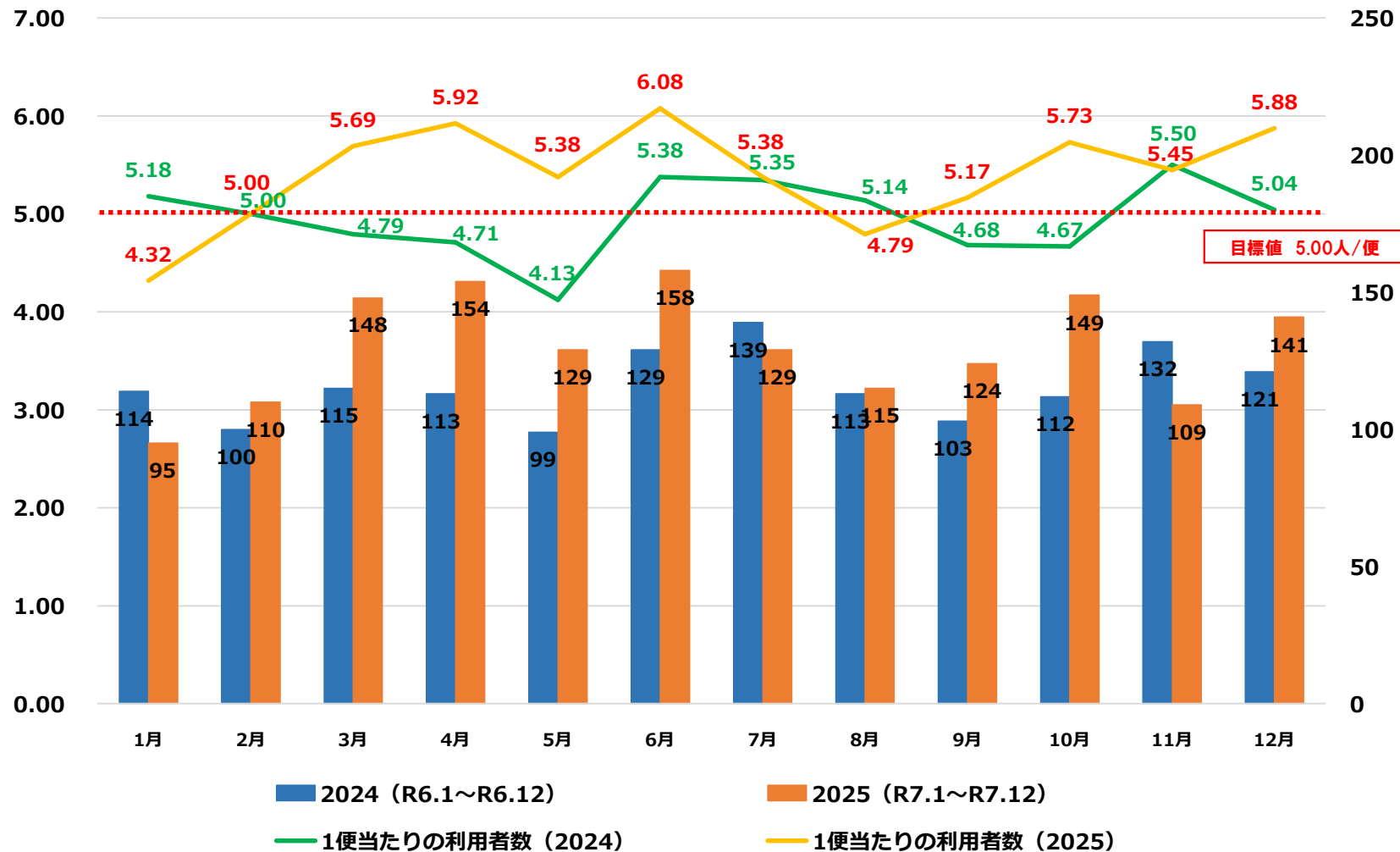
来年度の課題

- 目標値の達成(1便当たりの利用者数**5**人)
⇒**普及活動**の継続実施
- 各停留所の利用実績の集計
⇒経路変更2年目を迎えるため、**前年度と比較**した停留所ごとの利用実績の集計を実施
- 各停留所の在り方の研究
⇒利用実績をもとに停留所の在り方について研究し、**ルート再編・停留所の統廃合等**を検討する際の参考資料として情報を整理する

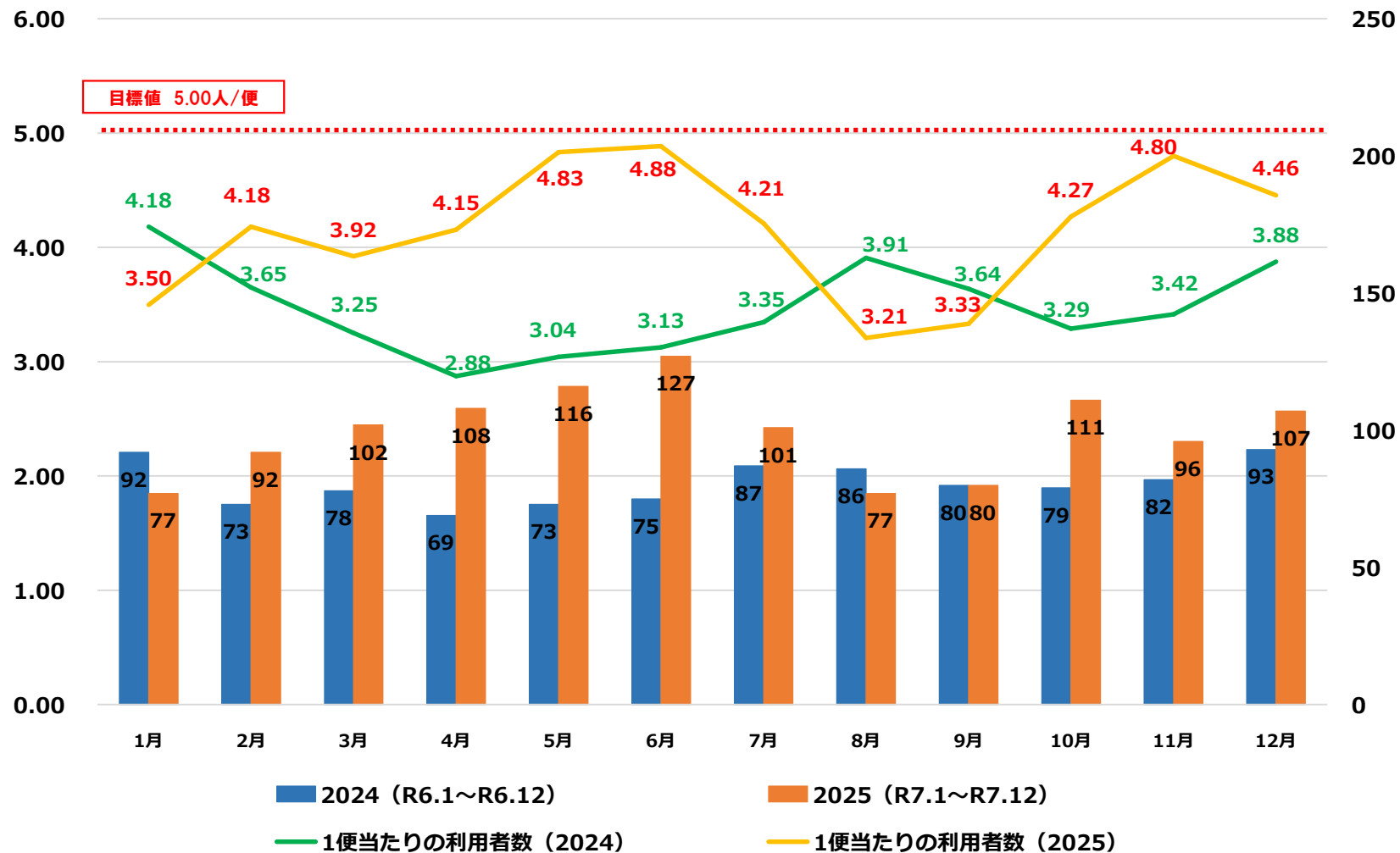
年間利用者（全体）



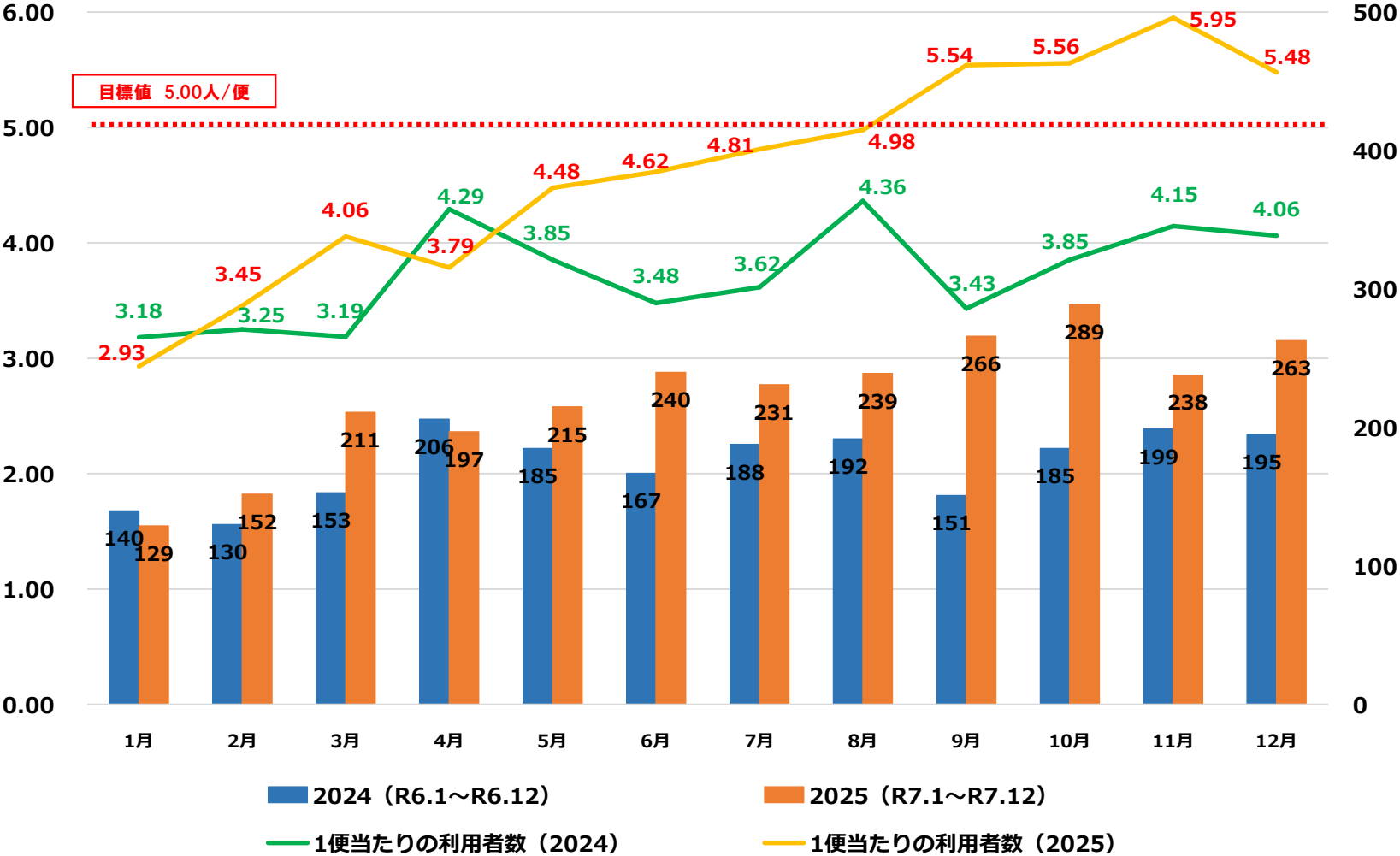
年間利用者（精明東）



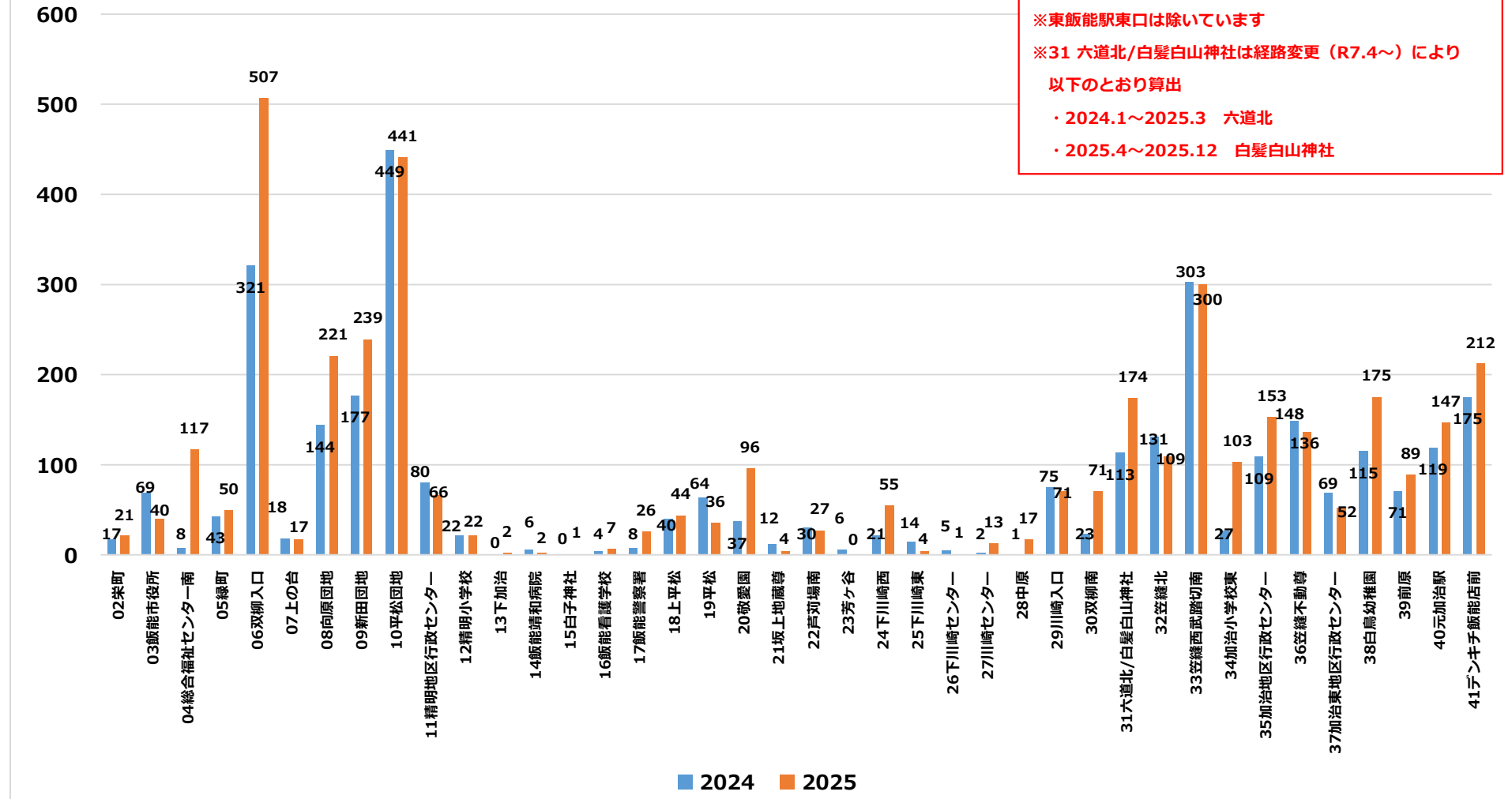
年間利用者（精明西）



年間利用者（加治）



おでかけむ—ま号（精明・加治）運行実績

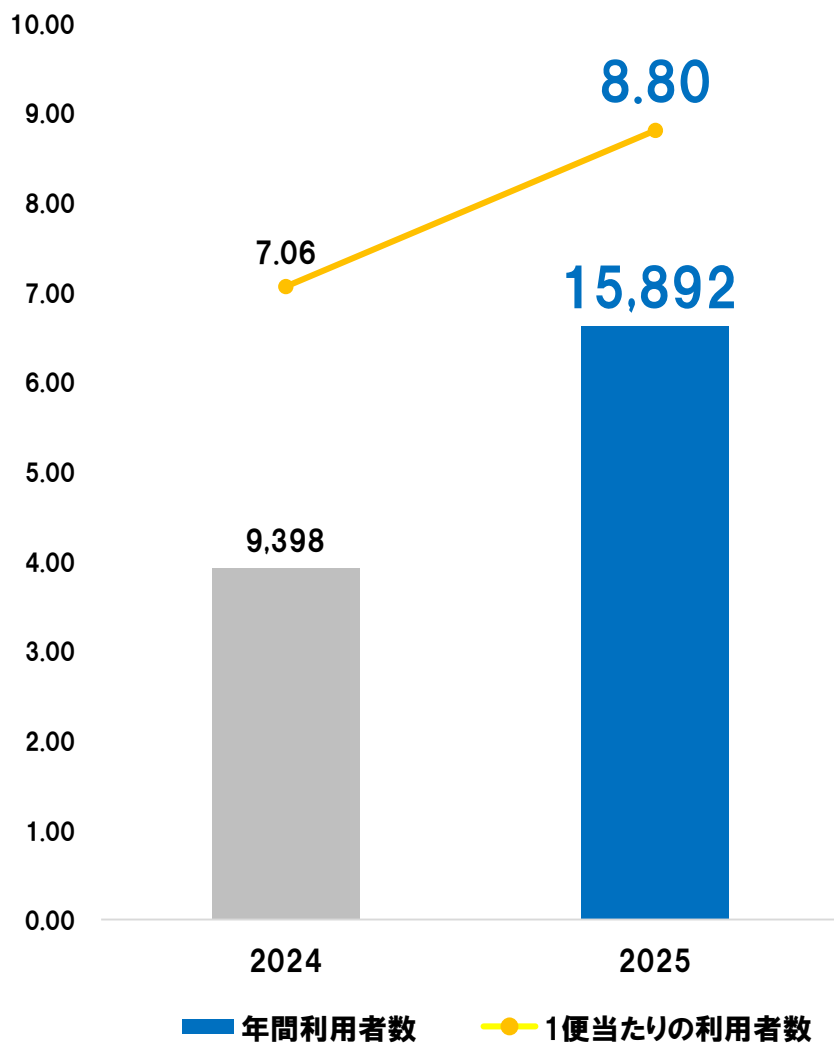


おでかけむーま号(原市場・南高麗) 運行実績について

令和8年3月24日

飯能市地域公共交通対策協議会

年間利用者数(飯04)



24,000

年間利用者 **+6,494人**

1便あたり利用者 **+1.74**

20,000

⇒ 運行回数増 (2往復→3往復)

18,000

需要も**増加傾向**

16,000

14,000

主な利用として

12,000

通勤・通学が想定される

10,000

8,000

6,000

「**生活路線**」として
定着してきている

4,000

2,000

0

年間利用者数(飯05)

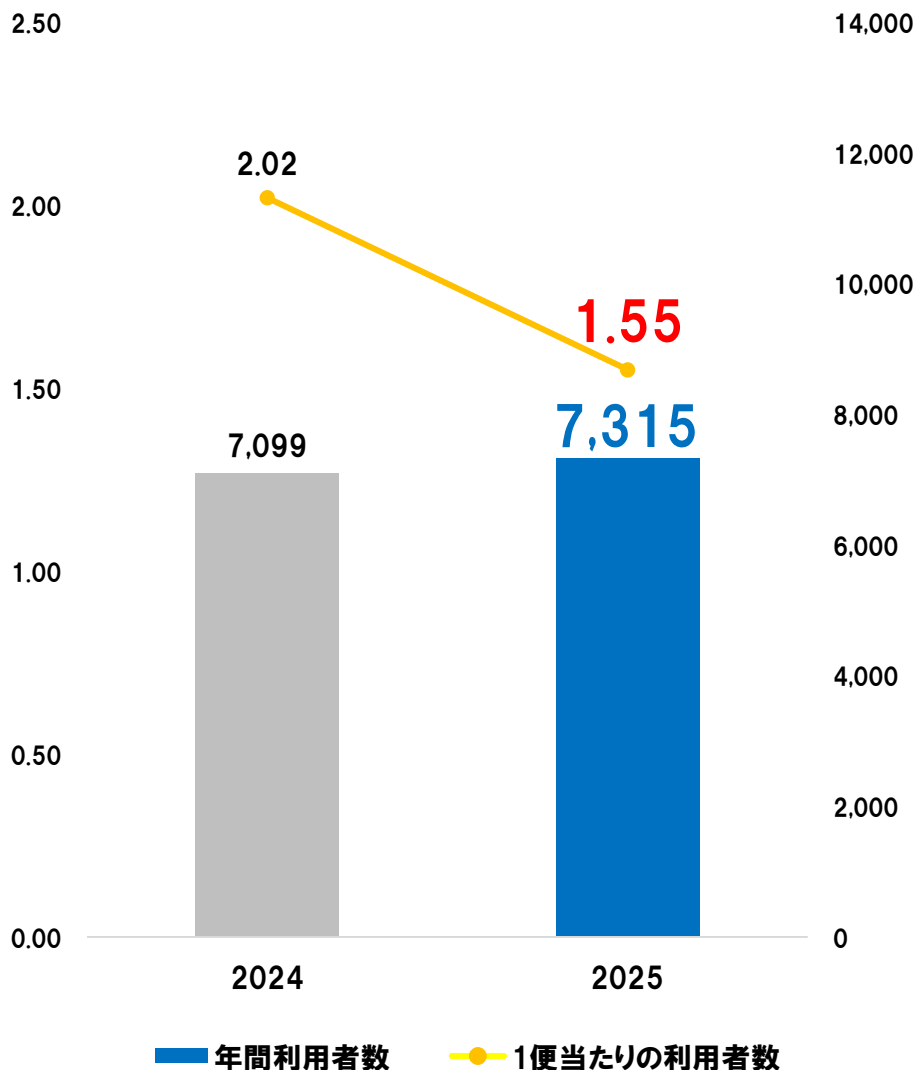
- 年間利用者 453人
- 1便当たりの利用者 1.90人

⇒回送便の有効活用により運行

2025年の実績を踏まえて

今後の**路線の在り方**について研究

年間利用者数(原市場系統)



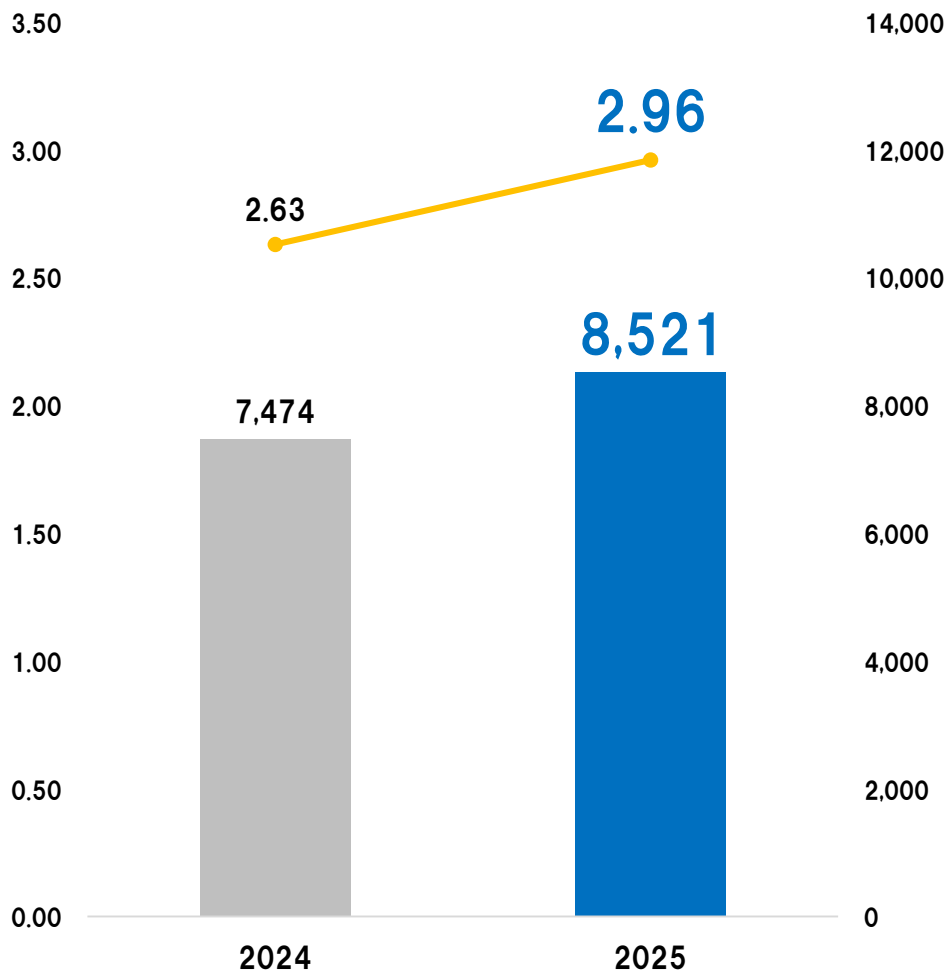
年間利用者 **+216人**
1便あたり利用者 **△0.47人**
⇒ 利用状況を踏まえた増便や系統の見直しにより

利用者数は**増加傾向**

⇒一方、1便当たりの利用者数は
減少傾向

▼
利用実績の分析が必要

年間利用者数(南高麗系統)



■ 年間利用者数 ● 1便当たりの利用者数

年間利用者 **+1,047人**
1便あたり利用者 **+0.33人**
⇒ 利用状況を踏まえた路線の最適化により
需要も**増加傾向**

▼
「生活路線」として
定着してきている

来年度の課題

➤ 継続した利用促進

⇒ほとんどの路線で前年度値を上回る実績であり、**継続した利用促進**を実施していく

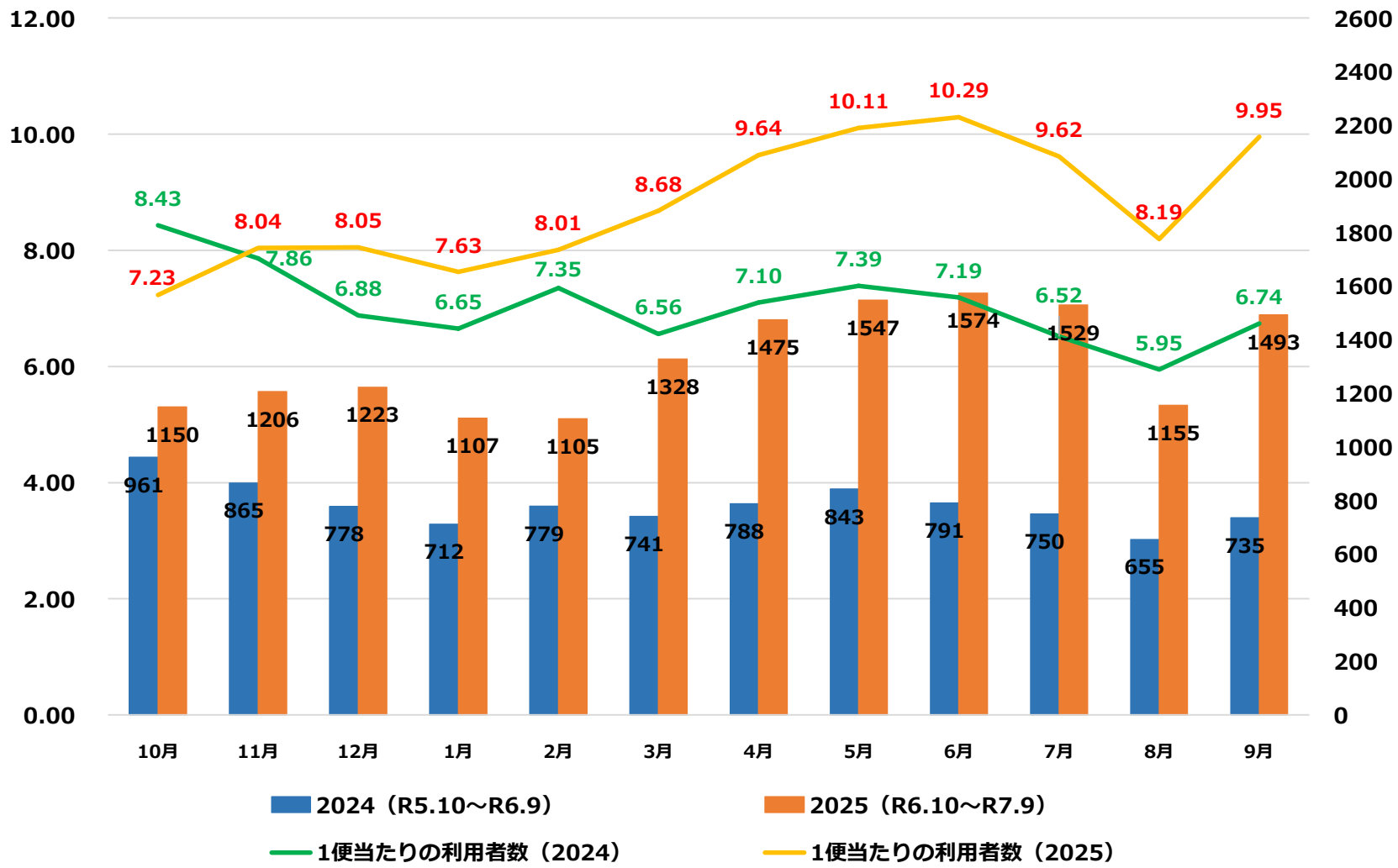
➤ 原市場系統の分析

⇒変更後2年目の運行中となるため、**前年度と比較**しながら**利用実績を分析**する

➤ 各系統の在り方の研究

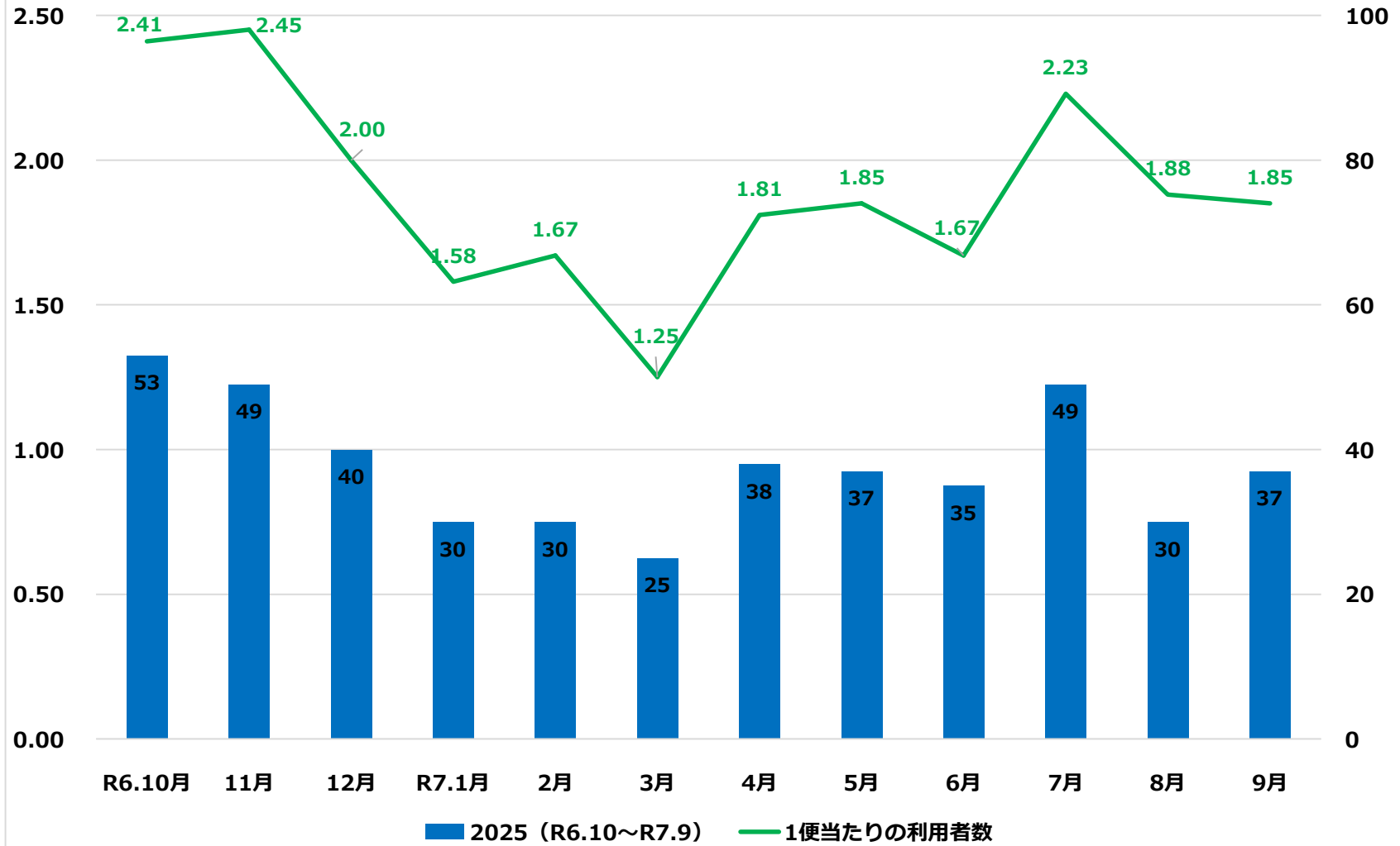
⇒利用実績をもとに各系統の在り方について研究し、**系統再編等**を検討する際の参考資料として情報を整理する

年間利用者（飯04）

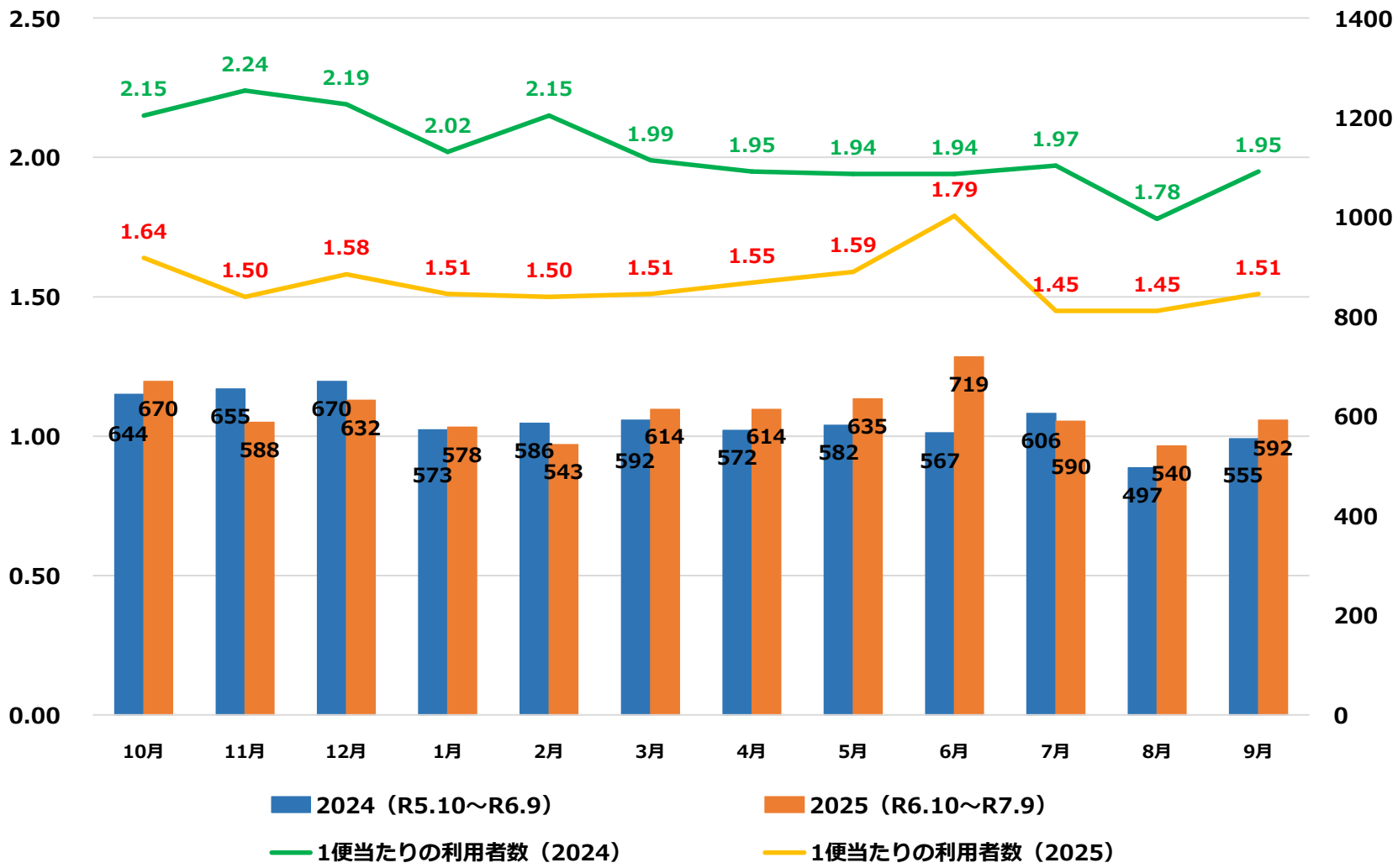


年間利用者数（飯05）

※R6.10～の新設系統



年間利用者（原市場系統）



年間利用者（南高麗系統）

